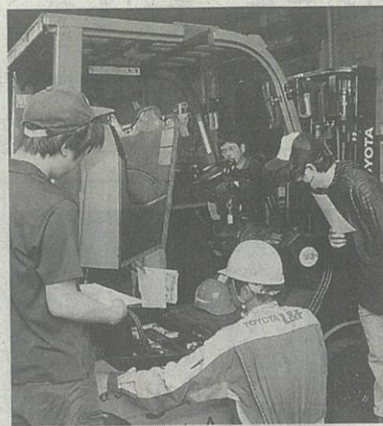


フォークリフト安全講習 事故防止へ2年ぶり開催 三重・JA伊勢



フォークリフトの点検方法を
確認する職員ら

【三重・伊勢】JA

伊勢は8月上旬、御浜町にある三重南紀統一選果場で、フォークリフト安全講習会を開いた。トヨタL&F中部から講師2人を招き、同JAの職員や選果場荷受けスタッフら約20

人が参加した。

講習会は、JA三井リース三重営業所が、全国的にフォークリフ

トの事故が多いことを受けて提案した。「三重南紀みかん」の出荷開始が9月中旬に迫る中、知識を深めて安全への意識を高めようと、2年ぶりの開催を決めた。人事異動での職員の入れ替わりも踏まえた。

参加者らは、点検方法や注意点、日常的な整備方法などの説明を受けた。エンジン車とバッテリー車を用いて、作業前点検や月次点検のポイントを確認した。

講師は「点検漏れが事故につながった事例もある。日頃から正確な点検を行い、しっかりと手入れをして故障なく長く使ってほしい」と話した。

選果場の榎本和也場長は「普段から安全を心がけているが、いま一度しっかり学び、労災事故の防止を徹底しよう」と呼びかけた。